

重要な研究開発課題の検討例

資料1 - 4 別添3

フロンティア分野
 デルファイ調査で研究開発水準が高いとされた課題
 デルファイ調査で政府関与の必要性が高いとされた課題
 研究開発水準および政府関与の必要性がともに高いとされた課題

総合科学技術会議で各課題の予算規模を把握する目的で予算を振り分け、課題ごとに分割できないために、ある程度まとめて計上した場合もある。なお、0.0億円(0.00%)は有効数字以下の予算(割合)の場合も含む。

研究開発領域	研究開発課題 / 技術	平成17年度予算			該当するデルファイ調査の領域 (仮)
		1878.0	フロンティア分野全体(億円)		
		予算額(億円)	全体に対する比率	総合科学技術会議で優先順位付けした主な施策(参考)	
宇宙科学	惑星探査、太陽地球系	122.1	6.50%	A(独)第22号科学衛星(SOLAR-B) A(独)第24号科学衛星(PLANET-C) A(独)BEPI COLOMBO(水星探査プロジェクト) B(独)月周回衛星(SELENE)	惑星探査技術
	天文	25.8	1.38%	A(独)第21号科学衛星(ASTRO-F)	地球型生命および太陽系外惑星探査技術 宇宙と素粒子の研究
宇宙開発利用	宇宙輸送システム	122.1	6.50%	A(独)H-IIA標準型 A(独)信頼性向上プログラム	
	情報収集・解析技術	624.0	33.23%	情報収集衛星に係る経費(情報収集衛星業務費,情報収集衛星施設費)	
	観測センサー技術	19.1	1.01%	B石油資源遠隔探知技術の研究開発	地球環境高精度観測・変動予測技術 安全・安心社会の宇宙・海洋・地球技術
	通信基盤技術	64.1	3.41%	B(独)高度衛星通信技術に関する研究開発(NICT) B(独)超高速インターネット衛星(WINDS)	
	測位基盤技術	62.8	3.35%	A準天頂衛星システムの研究開発(総務省) A(独)準天頂衛星を利用した高精度測位実験システム(JAXA) A準天頂衛星による高精度測位補正に関する技術開発(国交省)	
	ロケット技術	89.2	4.75%	A(独)LNG推進系の飛行実証(JAXA) A(独)次世代輸送システム設計基盤技術開発プロジェクト(GXロケット) B(独)H-IIAロケット能力向上型	
	有人宇宙活動技術	361.7	19.26%	A国際宇宙ステーション計画	有人宇宙活動基盤技術
	衛星系技術	68.1	3.63%	A次世代衛星基盤技術開発プロジェクト(準天頂衛星)(経産省) A(独)技術試験衛星 型(ETS-)(JAXA) B(独)宇宙環境信頼性実証プロジェクト(SERVIS)(NEDO)	宇宙利用技術 - 衛星基盤技術 - 科学技術革命を先導する宇宙・海洋・地球技術
	宇宙空間利用技術	1.1	0.06%	B次世代型無人宇宙実験システムの開発(USERSプロジェクト) B太陽光発電利用促進技術調査研究	特殊環境下製造技術 再生可能エネルギー
海洋・地球科学	海洋観測技術	0.0	0.00%		地球環境高精度観測・変動予測技術
	海底地震予測技術	21.2	1.13%	A(独)地球内部ダイナミクス研究(JAMSTEC)	地球深部観測技術
	海洋資源探査技術	0.0	0.00%		
	深海探査技術	0.0	0.00%		海洋・深海底観測調査技術
	地球深部観測技術	106.3	5.66%	A(独)深海地球ドリリング計画(JAMSTEC)	地球深部観測技術
	極限生命体探査技術	0.0	0.00%		極限生命の探査・捕獲・培養技術
海洋開発利用	海洋エネルギー利用技術	0.0	0.00%		科学技術革命を先導する宇宙・海洋・地球技術 再生可能エネルギー
	海洋生物資源利用技術	0.0	0.00%		生態系と調和し、環境を向上させる生産技術開発 生物多様性と生態系の複雑な相互作用の解明
その他	競争的研究資金	58.5	3.12%		
	その他	131.9			